

平成23年2月1日付けで、NEXCO 西日本兵庫工事事務所所長を拝命いたしました、眞 伸行と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度の当事務所の事業を振り返りますと、おかげさまで用地取得については、年度当初の約40%から年度末には約88%と大幅な進捗を図ることができました。また、工事につきましても、兵庫県域で最も進捗が進んでおります「川下川橋工事」において、橋脚高が一番高いP2橋脚が3月に完成するなど、少しずつではありますが、着実に進展させることができました。これもひとえに地権者の皆さまをはじめ、沿線の皆さまや関係機関のご理解とご協力の賜物であり、あらためまして御礼申し上げます。

さて、去る3月11日に『東日本大震災』が発生しました。お亡くなりになられました多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆さまに心からお見舞いを申し上げます。今回の大震災を目の当たりにし、あらためて自然災害の脅威とそれに対する備えの必要性を痛感した次第です。新名神高速道路（高槻～神戸間）につきましても、名神～中国道にかけての災害時における高速道路の代替ルート確保という観点からも、早期整備が望まれていると思われまます。

今年度につきましても、引き続き用地取得を進めますとともに、計画的に工事の発注を行いたいと考えております。目標であります、平成28年度開通の実現のために、非常に重要な時期でありますので、地域の皆さまとより良い関係構築に努めますとともに、事務所一丸となって事業の推進を図ってまいりたいと思っておりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



NEXCO 西日本
兵庫工事事務所
所長 眞 伸行



今回よりスタートしました、「新名神高速道路 現場の声」。初回を飾るのは、本誌にも何度か紹介しました「川下川橋工事」現場代理人の中野氏と、NEXCO 西日本 兵庫工事事務所 宝塚工事区 工事長の秋山に川下川橋工事の現在の状況と、宝塚市域の新名神高速道路事業状況についてお聞きします。

質問 まずはじめに、宝塚市域の新名神高速道路事業状況について教えてください。

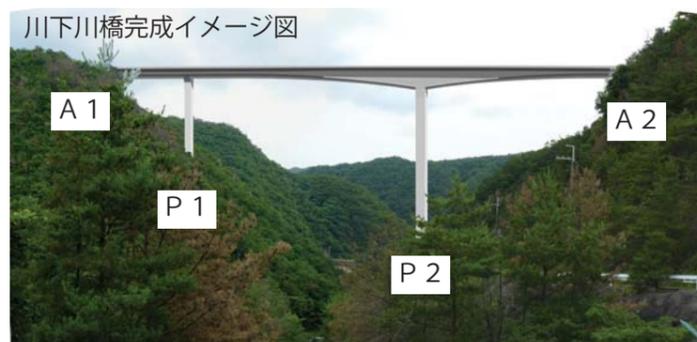
秋山 地元の皆さまとの設計協議については、平成20年度に完了し、その後事業追加された宝塚サービスエリア（仮称）の設計協議についても、平成22年度に完了しています。用地取得についても、宝塚市域では、ほぼ完了しております。これもひとえに地元の皆さま、関係行政の皆さまのご協力の賜物と感謝しております。

また、工事につきましても、新名神高速道路（高槻～神戸間）の最初の本線工事である「川下川橋工事」、後発の本線工事のための工事用道路として使用する、県道塩瀬宝塚線の改良工事「玉瀬工事」の2件を施工中です。

質問 現在施工中であります、「川下川橋工事」の概要と現在の状況をお教えてください。

秋山 川下川橋は、橋長300m、橋脚の高さは95mで国内有数の大規模なコンクリートラーメン橋です。本工事は、鹿島建設(株)・(株)ピーエス三菱共同企業体が工事を進めています。本橋は、神戸市域から宝塚サービスエリア（仮称）への本線土運搬路として使用する計画であり、一日も早く完成するよう工事を進めています。

中野 工事の進捗状況は、平成23年3月に高さ95mのP2橋脚が完成し、柱頭部の施工中です。P1橋脚は、大口径深礎杭の掘削が完了し、躯体の構築を開始しています。A1橋台は深礎杭掘削工を開始するところです。秋頃には、残されているA2橋台の施工に着手する予定です。



川下川橋完成イメージ図

質問 工事に際して気をつけていることはなにかありますか？

中野 資機材搬入車両のルート・時間の厳守、ダムへの汚濁水流入防止対策の徹底等、地元住民の方々や関係官公署の方々にご迷惑がからないよう、決められたルールを必ず守り工事を進めていくということです。新名神高速道路（高槻～神戸間）の最初の本線工事として、常に注目されていることをひしひしと感じています。品質・安全とともに他の工事の模範となるよう、施工計画の再検討・改善を重ねながら、慎重に工事を進めています。

秋山 工事現場の安全はもとより、宝塚市の水源である「川下川ダム」周辺での工事ですので、ダムへの汚濁水流入防止について気をつけています。また、工事車両の運行についても、地元の皆さまと協議しながら、交通安全対策に取り組んでいます。

質問 現場でやりがいを感じる瞬間は？

中野 少しずつ構造物が出来、風景が変わっていく過程を目の当たりにすることで、土木工事の醍醐味を感じています。また、周辺地元住民の方々の現場見学会等で、「大変ですね」とねぎらいの声をかけていただいた際には、「立派な構造物を造らなければ」と、気持が高ぶります。

質問 橋脚の高さが95mとお聞きしましたが、橋の上は怖くないですか？

中野 「怖くない」と言ったらウソになりますが、施工中は徐々に高さが上がっていくため、意外と慣れます。しかし、すべてが高所作業ですので、墜落・転落災害防止はもちろんのこと、飛来・落下災害の防止についても常に念頭に置き、緊張感をもって工事を進めています。

質問 これから、宝塚市域の新名神高速道路事業はどのように進んでいくのですか？

秋山 今後は、現在施工中の「川下川橋工事」「玉瀬工事」の2つの工事を進めていくとともに、新名神高速道路 宝塚市域東側の「切畑トンネル工事」の着工を予定しております。これにより、宝塚市域のほぼ全域で工事を実施することになります。工事の施工に際しましては、工事用車両の運行に伴う交通安全対策、工事騒音・振動抑制等に努めてまいりますので、地元の皆さまには引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【宝塚市域 今後の動き】

- 川下川橋工事（川下川ダム下流部の橋梁工事）現在施工中。平成23年度上部工着手。
- 玉瀬工事（県道塩瀬宝塚線改良工事）現在施工中。平成23年度全面着手。
- 切畑トンネル工事（トンネル、宝塚SA（仮称）部盛土工事）契約手続き中。平成23年度工事着手。

☆豆知識：ラーメン橋とは、橋梁の柱と車が走行するところ（主桁）を一体化させた橋梁のことです。



NEXCO 西日本
兵庫工事事務所
宝塚工事区
工事長 秋山

川下川橋工事
現場代理人
中野 氏

宝塚市 西谷小学校へ出前学習



平成23年2月14日 宝塚市の西谷小学校に出前学習（NEXCO 社員が小学校に出向き高速道路事業の説明をする）を行い、小学校5・6年生の合計約50名に参加していただきました。

出前学習の当初の予定では、30分程度高速道路の概要を説明させていただき、その後、宝塚市の川下川橋工事の現場に行き、現場見学を行う予定としておりましたが、残念ながら前日に雪が降ったため、安全を考え現場見学は中止となりました。自然のことなのでどうしようもありませんが、小学生の皆さんには申し訳ありませんでした。

出前学習が始まりました。写真にあるように、NEXCO 社員お手製の資料をもとに、宝塚工事区の秋山工事長が説明を行いました。まずは、NEXCO が管理する高速道路の概要を説明し、その後に現在建設中である新名神高速道路の説明を行いました。NEXCO からの説明が終わった後は、いよいよ小学生の待っていた自由質問。小学生の純粋な質問に NEXCO 社員はタジタジ。時々回答に困る場面もありましたが、なんとか無事に初めての出前学習を終えることができました。NEXCO 社員にとっても、いい経験となりました。



小学生の眼差しは真剣そのもの

事業進捗状況表（H23.3.31 時点）

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町				川西市				
	八多町 中	有野町 二郎	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	つつじ が丘	広根	上野	石道	清流台	西畦野	北摂 団地	東畦野
平田	塩田	生野															
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	(○)	—	○
地元協議 (暫定4車線)	—	○	△	△	△	○	○	○	地区対策協議会協議中				△	△	△	△	△
幅杭設置 (率)	○	△	△	—	△	△	—	○	△	—	△	○	○	—	○	—	△
	約94%																
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	—	○	—	△
用地取得 (率)	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	—	△	—	△
	約88%																
工事用道路 工事	—	—	—	—	△	①	—	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—
本線工事	△					△	—			—				—		—	

凡例： ○ ⇒ 完了、△ ⇒ 実施中、空白 ⇒ 未着手、赤字 ⇒ 前号より推進した項目
(○) は確認書の締結が未了、工事の数字は工事発注件数